



仙台市地下鉄東西線開業


計量みやぎ

2016.1.15
 編集発行
 仙台市太白区長町7-22-23
 (一)宮城県計量協会
 TEL 246-2466・FAX 247-1490
www.keiryō.net/

年頭のご挨拶



会長

鍋島 孝敏



新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お元気で新春を迎えられた事と心よりお慶び申し上げます。

東日本大震災から五年目を迎えて、いわゆる第一次復興計画期間が終わろうとしています。まだまだ仮設住宅から出られない人達が大量残っているし、何よりお隣の福島では十万人を超える人達が地元に戻れないままです。

我々宮城県と福島県の計量協会としては、毎年行われる北海道・東北計量大会の場において「放射線測定器」の扱いを、計量器として国のしかるべき規制の元での運用を要望して参りましたが、ここに来てようやく国も重い腰を上げて検討を始めようか、といった遅々とした状況です。折しも、昨年十月には全国より半年遅れで県議会議員選挙が行われ、当会の顧問をお願いしている石川議員も見事当選を果たされました。当選した議員は全員が党派に関わらず「復興のスピードアップと前に進める」という事を公約に掲げておりました。選んだ有権者としての我々の責任は、その公約の実現ぶりを見て行き、真の意味での「復興」が為し遂げられるよう共に力を合わせなくてはなりません。

おかげ様で、宮城県計量協会と致し

ましては仙台市の定期検査や県下の計量器の代行検査等、ハカリの定期検査業務の方は順調に推移していますが、県から委託を受けて泉の産業技術センターで行っているコンクリート等の材料強度試験業務については、復興の進捗と共に減少して来ている実態もあります。どのような状況になろうと、国民の生活や産業の基盤を支える計量の重要性は変わるはずもなく、その計量制度を現場で支える協会の使命は益々重くなる一方で、そのためにも健全な財政運営に努めて参る所存です。

毎年、十一月一日の計量記念日前後に開催している「みやぎ計量のひろば」も、一昨年から仙台市八木山動物公園のご協力を頂いて開催しています。今年からは、地下鉄東西線の開通もあり、益々大勢の市民の皆様への計量思想の普及・啓発の場となる事は間違いなく、このような事業こそ協会の一義的な役割と認識し、総力を上げて取り組んで参ります。

今後も、さらなる新たな事業を取り込みながら強靱な体質の協会にして行く所存でございますので、理事の皆様を始め会員の皆様の協会運営へのより一層のご理解とご協力をお願いして私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

「創造的復興」に向けて

「復旧・復興の更なる飛躍を目指す年に」



宮城県知事

村井 嘉浩



明けましておめでとうございませう。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様は御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、仙台育英学園高校が、夏の甲子園大会において堂々の準優勝に輝き、はつらつとしたプレーが私たち県民にたくさんの勇気と感動を与えてくれました。また、「仙台・宮城（伊達な旅）夏キャンペーン」の開催や「仙台商みの杜水族館」の開業などにより、多くの方に宮城を訪れていただきました。

さらに、昨年は、防災集団移転や土地区画整理、災害公営住宅の整備による街づくりが進展したほか、JR仙石線と石巻線の全線運行再開、仙石東北ラインの開通など震災からの復興が着実に進んだ年でした。

一方、九月の関東・東北豪雨では、堤防決壊や土砂崩れ、冠水などにより住宅や公共施設、農林水産業などに大きな被害が発生しました。改めて亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。県といたしましても今後の防災対策の強化を図ってまいります。

今年、「宮城県震災復興計画（平成二十三年十月策定）」に定める「再生期」の三年目に当たりま

す。昨年に引き続き、「迅速な震災復興」、「産業経済の安定的な成長」、「安心して暮らせる宮城」、「美しく安全な県土の形成」を政策推進の基本として、「復旧・復興に向けた施策に最優先で取り組む」とも、人口減少対策や地域経済の活

年頭のご挨拶

仙台市市民局

市民協働推進部消費生活センター

所長 吉田 幸江

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より、本市の計量行政を始め市政各般にわたり、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本市が東日本大震災からの再生・復興の実現に向けてのシンボルとする地下鉄東西線が昨年十二月に開業いたしました。国の許可を得てから九十二年余りでの開業です。東西線は「地上を明るくする地下鉄」として、利便性の向上をもたらすのみならず、新たな事業を生み出し経済の活性化にもつながる起爆剤としての期待も寄せられています。

このような中で、本年五月には「2016G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」が本市で開催されます。昨年三月に開催し大きな成果を収めた「第三回国連防災世界

性化策、地方分権型社会の実現など地方創生の取組も併せて推進してまいります。

東日本大震災から間もなく五年が経過します。今なお多くの方々がお応急仮設住宅などで不自由な生活を余儀なくされているなど、復旧・復興はまだまだ道半ばではありますが、本県が、震災前の状態に戻す「復旧」にとどまらない「創造的復興」を成し遂げ、「生まれてよかった、育つてよかった、住んでよかった」と思える宮城県を県民の皆様とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

会議」に続き、東日本大震災への支援に対する謝意を伝え、大震災の災禍から力強く立ち上がった東北・仙台的姿、自然と共存するイノベーション都市としての魅力を力強く世界に向けてアピールする絶好の機会となります。

貴協会におかれましては、計量技術者の育成など確かな計量の基盤維持はもとより、本市の指定定期検査機関として安定した計量検査の実施にご尽力いただき、円滑な計量行政を支えていただいていることに改めて感謝申し上げます。

引き続き、消費生活の安全安心の確保や健全な産業活動の推進のため、ご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

迎春

あけましておめでとうございませう

会長	鍋島 孝敏	理事	江刺 茂
副会長	千葉 信弘	理事	和田 剛和
副会長	笠原 秀	理事	屋貝 尚孝
顧問	石川 光次郎	理事	伊瀬 知衛
顧問	渡辺 博	理事	高橋 悟
顧問	鈴木 壮一郎	理事	吉田 洋
顧問	菅原 功	理事	二階堂 博
専務理事	草刈 謙一	理事	大竹 保典
常任理事	加藤 啓二	理事	三浦 誠
常任理事	嶺岸 優	理事	工藤 一広
常任理事	熱海 周一	理事	山田 勝
常任理事	笠原 建	理事	坂井 常行
理事	鈴木 昇二郎	監事	大湯 澄
理事	安齋 敏行	監事	加藤 昌宏
理事	新井 田匡彦		
理事	佐藤 正使		

(敬称略)



平成二十七年 東北・北海道計量大会

十月八日(木)青森国際ホテル



平成27年度 東北・北海道計量大会(青森県)

平成二十七年 東北・北海道計量大会が十月八日(木)に青森県青森市「青森国際ホテル」で開催された。大会には、国並びに各道県の計量行政機関、計量団体、会員約百六十名あまりが集い、開会宣言の後、平成二十六年計量関係物故者への黙祷を捧げ、主催県の東北六県北海道計量協会連合会西秀記会長の歓迎の挨拶があり、平成二十七年の計量功労者八名の表彰が行われた。本県からは藤田克則氏(一財)宮城県公衆衛生協会が表彰された。

次に大会記念事業として、社会福祉法人青森県社会福祉協議会に「車いす用体重計」が寄贈された。

続いて大会宣言が読み上げられ、満場一致で採択された。最後に経済産業省産業技術環境局三浦裕幸計量行政室長など多数の来賓の方々が紹介され、祝辞を頂戴し、大会は終了した。

大会宣言

計量制度は、国民生活と経済の発展・文化の向上に欠くことのできないものである。我々は、計量の適正に寄与された先人の偉業を貴重な財産として受け継ぎ、これを次の世代に残すべきその使命と重要性を自覚し、計量思想の普及・啓発と、適正な計量の実施を確保するため最大の努力を傾注し続けてきた。

今日、計量を取り巻く環境と諸情勢は、国際化や地方分権、東日本大震災に起因する環境計量分野への国民の意識強化等、大きく変化しているものの、適正な計量・国民生活への安心安全な計量制度は、いつまでも変わらず提供されなければならない。

我々は、これら国際的・社会的要求に応えるためにも、計量の基本と適正な計量の実施を確保する使命感を持ち、「くらしを守る確かな基準・計量・計測」「環境計量・モラルの向上・品質管理」のスローガンを掲げ、これが達成実現に最善の努力を尽くすことを重ねて決意し、本大会の名において宣言する。

平成27年10月8日

東北・北海道計量大会



計量功労者表彰 藤田克則氏



第六十四次

東北六県北海道計量協会連合会総会

計量大会に引き続き、第六十四次東北六県北海道計量協会連合会総会が、会則に従い開催県の西秀記会長が議長に就き、前年度開催地であった北海道の開催報告を受けてから、議事に入った。各県からの提出議題は次のとおりであった。

議題一 放射線量の計量証明事業登録制度と計量行政 (宮城県)

議題二 放射線測定器の法規制などの要望について (福島県)

議題三 放射能測定器及び放射線測定器の校正について (福島県)

議題四 連合会総会の次期開催地について (青森県)

議題一、二、三は秋田県大会から四年間続いた放射線測定に係る計量法規制要望の総括的な議題関連なので、一括審議とし、各提案県から、放射能測定関連の法改正の動きもあり、計量行政の活躍や、正しい放射線測定器の供給と校正などの確かな使用について計量法で規制するなど、計量行政機関が目を光らせ、また正確な指針を示してほしいという要望がなされた。

この議題に対して、三浦経済産業省計量行政室長から、環境関連の法改正は環境省からあり、放射能の監視測定は省庁などの公共機関で実施するものである。なお、

放射線の測定については政府としてきちっと対応していくことで変わっていない。廃炉、除染の問題も対応し、着実に進行している。また、測定器の精度は担保されており、年一回程度の校正は望ましいとも伝えていっていると回答があった。

最後の議題は、本総会の次期開催地は山形県とすることで決定され、山形県計量協会の小林信治会長からは歓迎の言葉があり、大会旗が青森県から山形県へと引き継がれ、総会は終了した。

総会後は、見学会となり、青森ねぶたミュージアム「ねぶたの家ワ・ラッセ」を自由見学し、ねぶた祭りの由来や、ねぶた祭りに出陣する大型ねぶた・ねぶた製作名人のねぶた面等を自由に見て回りました。

歓迎レセプションは、青森の代表的な津軽三味線の乱打の迫力に圧倒されながら、青森の名酒を酌み交わしながら歓談しました。



ワ・ラッセ



大型ねぶた



津軽三味線の乱打



ねぶた面

2015

計量のひろば



むすび丸

今年の『みやぎ計量のひろば』は、“動物と計量ふれあいひろば”をテーマに仙台市八木山動物公園で、宮城県・仙台市・協会の共催で行いました。

当日は、曇りで後から薄日の差すますますの天気でした。ハロウィンの日と重なったため子供さんを連れて訪れた多くの親御さんたちで、各コーナーは賑わい、動物と計量とのふれあいを楽しんでもらいました。

今回、地域連携企画で、地元八木山の仙台赤十字病院さんも「健康測定コーナー」として参加され、小さいお子さんからお年寄りの血圧や、骨密度などを測定しました。

また、ご当地キャラの“むすび丸”や日本電気計器検定所のマスコット“ミクちゃん”も応援参加し、子どもさんたちとナイスショットでカメラにおさまっておりました。

平成27年
10月31日(土)
10:00~
14:00



動物と計量ふれあい広場



ミクちゃん



動物とふれあいコーナー



ライフライン計量器のしくみ



重さ当てクイズ
(うさぎ+カボチャ)



電気の原理



放射線のおはなし



健康測定(子ども用血圧測定)
(協同参画 仙台赤十字病院)

優良事業所視察研修会

in 青森

- アズビル金門青森(株)
- カネショウ(株)

平成27年度の優良事業所視察研修会は、青森県で開催の計量大会にあわせて、大会終了の翌日、会場の青森国際ホテルを起点に、青森県内の優良事業所を会員16名で視察しました。

最初の研修先は、アズビル金門青森(株)さんです。アズビル金門は、ライフラインを支える水道メーター・ガスメーター等々有名な会社で、青森工場は、北は青森から西は九州唐津まで全国に七つある工場の一つです。

当工場は水道メーターを主力に製造している工場で、計量法の指定製造事業所に指定されており、修理製造から自主検定、基準適合証印を付す製作・完成・発送の一貫した水道メーター製作ラインを視察しました。

次に訪れたのが、地元青森県のリンゴを材料にリンゴ酢を製造販売している、創業101年のカネショウ(株)さんです。

日本の酢の製造は(株)ミツカンがほとんど製造流通させており、後は中小の酢製造業者だそうで、また酢の消費は関西が多く、工場もそちらに多くあり、東北にある酢の製造工場はまれだそうです。

酢は、原料になる穀物または果実から醸造酒を製造し、それへ酢酸菌を加え、酢酸発酵させて作るという、酒造りの過程の後に酢酸菌を加え生まれるということを学習しました。

また、酢は疲労回復・ダイエット効果があり、特にリンゴを原料とした酢は、お通じも良くなるそうで一。

ちなみに世界的に美味しく、独特な芳香がある酢は、イタリアのバルサミコ酢という黒い酢で、それに近づく挑戦をしていると工場責任者の方が話しておりました。

事業所視察の途中で立ち寄った、暴風雪で道に彷徨した軍人199名が亡くなった八甲田雪中行軍、世界最大級の山岳遭難の地を訪れました。紅葉真っ盛りの小雨に煙る八甲田の山中に立った軍人の銅像は、銃の重い紐を震わせて寒そうでした。

昼食に立ち寄ったのが、全国人気「道の駅」の上位にランクされている、「道の駅いなかだて」で、数日後には最終日を迎えるという人気スポットの田んぼアートを鑑賞できました。

今回の視察は新幹線の倍以上時間がかかる青森ー仙台の350km、5時間のバスの移動でしたが、会員の皆さん意気軒昂に仙台に帰って来ました。



アズビル金門青森(株)工場



リンゴで造った酢



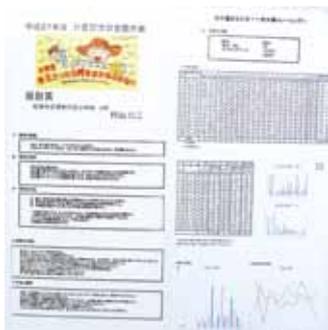
道の駅「いなかだて」田んぼアート



雪中行軍遭難記念碑像の前で

会社員 八巻由祈子氏

「確かめよう 信頼はかる 1目盛り」
最優秀作品
 2015年計量啓発標語



受賞作品(目分量をはかる!)



平成二十七年計量記念日全国大会事務局で実施した「何でもはかってみようコンテスト」の本県受賞予定者の名取市那智が丘小学校四年生の村山にこさん(受賞作品「目分量をはかる!」)に、みやぎ計量のひろば開催時に鍋島会長から表彰状と記念品が贈られました。
 また、同コンテストと計量啓発標語には本県からそれぞれ二名・六名合わせて八名の方々が応募されました。

計量記念日 表彰式

宮城県計量検定所からの

お知らせ

今年度中元期の立入検査の結果についてお知らせします。

商品量目立入検査の結果は、検査戸数十五戸、検査個数五百二十個を行い、うち量目不足五十六個不適率概ね十一％でした。

例年、計量時における風袋引きの設定ミス等により量目不足が発生していましたが、今年度中元期についても発生していません。

また、同時に行った「ばかり」の使用状態の検査の結果は、検査戸数十五戸、検査台数七十四台を行い、定期検査未受検が一台ありましたが、それ以外の不適合はありませんでした。

今後、特定計量器（燃料油メーター、タクシメーター等）・計量証明事業者・届出修理事業者等の立入検査を実施する予定です。

これからも検査態勢を強化するとともに、計量思想の普及啓発に努めてまいります。



平成二十八年年度

定期検査

実施区域

計量法第十九条（定期検査）及び第二十条（指定定期検査機関）に基づき、仙台市の平成二十八年年度の定期検査は、次の区域で行います。

- 泉区・宮城野区・若林区

平成二十八年年度

特定計量器代検査

実施区域

計量法第十九条（定期検査）及び第二十五条（定期検査に代わる計量士による検査）に基づく検査区域は次のとおりです。

- 岩沼市・大崎市・角田市・気仙沼市・白石市・名取市・東松島市
- 伊具郡・牡鹿郡・加美郡
- 遠田郡・本吉郡・亘理郡

※検査対象の事業所に対しては、当協会より事前に検査日程等を通知致します。

また、検査を受けていない事業所で、取引証明に使用されている計量器をお持ちの場合は、受検されますようよろしくお願い致します。（受検希望や問い合わせについては、宮城県計量協会へご連絡下さい）

せんだいエコフエスタ 計量体験

社会の環境を守り、経済の発展を呼びかける「せんだいエコフエスタ」が、九月六日仙台市勾当台公園市民広場で今年もアメニティ・せんだい推進協議会主催で開催されました。

仙台市消費生活センターブースでは、ゴミの水分量を計ってごみの重さを減らそうと、スポンジに含ませた水分の量をはかる、今回初めての計量の体験コーナーを設けました。

計量器はバネ式ばかり（斜面）を用意して水分を含ませる前後のスポンジの重さの差から水分量を出すものでしたが、デジタル式の電気式ばかりに慣れている子供さんや若い親御さんたちは珍しそうにばかりを見つめ、針の動きを見ながら、目盛りの数を数えていました。

一般計量証明事業場 主任計量者試験・講習会のお知らせ

本年度最後の計量証明事業所の主任計量者になるための試験が、宮城県計量検定所で実施されるのに伴い、計量協会では試験対策の講習会を左記により開催します。

講習会・試験日時
平成二十八年二月十六日（火）
午前十時～午後二時
※試験は同日午後二時四十五分～午後三時四十五分

講習会場
宮城県計量検定所
仙台市太白区長町七丁目
二十二番二十三号

受講の申込み
当協会ホームページを参照または協会へ問い合わせして下さい。
ホームページアドレス
<http://www.keiryonetel>
電話〇二二二四六一二四六六

協会便り

今年度の協会の検査業務は質量計の定期検査未受検者の発掘というところで、幼稚園・保育所・診療所等の受検促進を図りました。また、エコポイントハカリの新規検査も実施しましたが、ハカリの構造上入力による数トンの分銅の載せ降ろしに苦慮するなど、例年より検査期間が一ヶ月以上伸び、忙しく終わりました。

新年度は、二年後の本県開催の東北六県北海道計量大会の準備に忙しくなりますが、会員の皆様のご協力により頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

編集後記

「ハカリ知れない愛のこと」質量の単位は「キログラム」質量の定義として百二十年以上も使われてきました。この国際単位系（SI）で定義されている「キログラム」は、フランスのパリの国際度量衡局にある白金イリジウム合金製の分銅が「国際キログラム原器」として質量の原点になっています。質量の原器は国際単位系の中で唯一人工物で定義される最後の原器ですが、この度新しい定義に置きかえられる方針が決議されました。

このキログラム原器に係る計量の世界を題材にした映画「1001グラム」ハカリ知れない愛のことが昨年封切になり、全国の映画館で公開されています。

計量界では、「計れないものは、管理できない」「計ることは、物事を見えるようにすることである」「計ることは、知ることである」と言われていますが、さて、「愛は、計れるのか。計る計量器はできるのか」とこの映画を鑑賞して新しいインスピレーションを上げてみてはいかがでしょうか。



キログラム原器

仙台市地下鉄東西線開業

平成二十七年十二月六日に、仙台市の八木山動物公園駅から仙台市東部を經由し、荒井駅へと、市の東西を結ぶ地下鉄路線が開業しました。写真は東西約十四キロを走る2000系電車でです。